

令和6年度 学校目標

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	自立と社会参加を目指し、小学部から高等部までの教育内容を見直し、キャリア教育の観点から、系統的に再編成し、教育課程の改善を図る。	①キャリア教育の観点から、学習単元を整理し、学びの連続性の構築に向けた教育課程の編成を推進する。 ②ICT 機器を有効に活用し、わかりやすく、主体的に学ぶ授業づくりを進める。	①各学部における教育課程を考慮した計画的、系統的な年間指導計画を作成し、「継続性・連続性」のある授業を実践する。 ②コミュニケーション支援や主体的な学びの手立てとして、より効果的に ICT 機器を活用する。	①より系統性を意識した年間指導計画を作成し活用したか。また、「継続性・連続性」を意識した授業実践ができたか。 ②ICT 機器活用の取組が活性化し児童・生徒の主体的な学びにつながったか。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	主体的に学び、課題を解決する力の獲得を目指し、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援に取り組むとともに「わかる」授業を行うための授業改善を行う。	①児童・生徒の実態を客観的に、またよりの確にとらえ、作成した個別教育計画を関係者間で共有し、個に応じた指導・支援を行う。 ②「わかる」と実感し、主体的に学ぶことのできる授業を実践する。	①フォーマルアセスメントを効果的に活用し、適切な目標設定や手立てに講じて指導・支援を実践し、結果を関係者間で共有する。 ②ICT 機器を活用し、PDCA サイクルによる授業改善に取り組む。	①フォーマルアセスメント結果を理解し、目標設定や手立てを設定することができたか。 ②ICT 機器を活用し、「わかる」授業を展開できたか。
3	進路指導・支援	地域での豊かな生活や「なりたい自分」を思い描き、自ら進路選択を実現できるような指導・支援を行う。	①キャリアパスポートを活用し、次のステージを想定して、児童・生徒が自信をもって取り組めるキャリア教育を実践する。 ②地域や関係機関と連携を図り、児童・生徒の社会参加に結び付く、指導支援を行う。	①キャリアパスポートを活用する中で、各学部で活用するための課題を整理し、改善していく。 ②地域資源を活用し、地域や関係機関の人と関わりを持つ機会を設定する。	①キャリアパスポートを活用し、有効な指導に結び付けることができたか。 ②地域の資源を活用した授業を設定したか。学校内外の人と関わりを持つ機会を設定できたか。
4	地域等との協働	共生社会の実現を目指し、地域との連携や相互資源活用を通して、共生社会の担い手となる人を育てる。	①相互資源活用により、地域の学校との交流や共同学習を定着・発展させ、共生社会の実現に向けて理解推進を図る。 ②地域や近隣施設と協働して地域防災力を強化する。	①地域や近隣の学校等、交流や共同学習を推進し、地域資源を活用した授業を設定する。 ②地域や近隣の学校と協力関係を結び、互いに支え合う仕組みを作る。	①交流等を通して、児童・生徒間の相互理解が進んだか。また、取り組みを地域や保護者に発信することができたか。 ②地域や近隣の学校と協力体制を結べたか。
5	学校管理 学校運営	安全な環境を整備し、児童・生徒が安心して学ぶことができる学校づくりを推進する。個の資質に大きく依存しない組織であり、人権を大切にした「学び合い」「支え合う」組織づくりを促進する。	①児童・生徒が自ら身を守る力や支援者としての力をつけられる防災教育に取り組む。 ②教職員一人ひとりが主体的に課題意識を持ち、人権意識や同僚性を高め、互いを支えあう。	①発達段階に応じた避難訓練等の防災教育を通して児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるよう指導・支援を行う。 ②「ヒヤリハット」等の報告を教職員間で共有するとともに改善方法やその後の取組について検証を行う。互いにコミュニケーションを大切に、業務の効率化を図り、互いの心身の変化に気づけるようにする。	①防災教育を通して児童・生徒が自ら身を守る行動がとれるようになったか。 ②事故・不祥事防止に向け、自分事ととらえて行動することができたか。業務改善を図り、教員同士、コミュニケーションを図り、同僚性を高めることができたか。